

令和5年度女性活躍推進に係る企業課題解決支援研修等企画・運営業務

# 報告書

令和5（2023）年10月

ひろぎんエリアデザイン株式会社

## イクボスで組織も働き方も変わる！～多様なライフスタイルを尊重し、人を活かすマネジメントとは～ 実施報告

### [実施概要]

名称	イクボスで組織も働き方も変わる！～多様なライフスタイルを尊重し、人を活かすマネジメントとは～
開催日時	2023年9月8日(金)13:30～16:30
実施方法	オンライン開催(Zoom)
対象者	県内企業の管理職(男女問わず)
主催	広島県(受託事業者:ひろぎんエリアデザイン(株))
参加者数	25名

### ●第1部 講師による講演 (13:35～15:00)

#### 講師:株式会社プラウド 代表取締役社長 山本幸美氏

昨今の労働人口の減少を背景にダイバーシティ経営が企業に求められている中で、メンタル疾患が増加していること、日本は国際的にみて従業員のエンゲージメント(仕事に意欲的かつ積極的に関わること)や管理職のマネジメント力が低いという状況にあることを説明。イクボスになるうえで重要なのは、自分自身も部下も、仕事と私生活を分断するのではなく、相互に活かしあう「ワークライフシナジー」の考え方をベースに、従来型の支配的なリーダーではなく、メンバーを主役に据えて、メンバーの幸せを第一に考える「サーバントリーダー」となることであると解説した。さらに、管理職として、メンバーとの関係性を円滑にするためには、「自己重要感」「有能感」「好感」を感じてもらえるコミュニケーションをとることが大切であるとアドバイス。

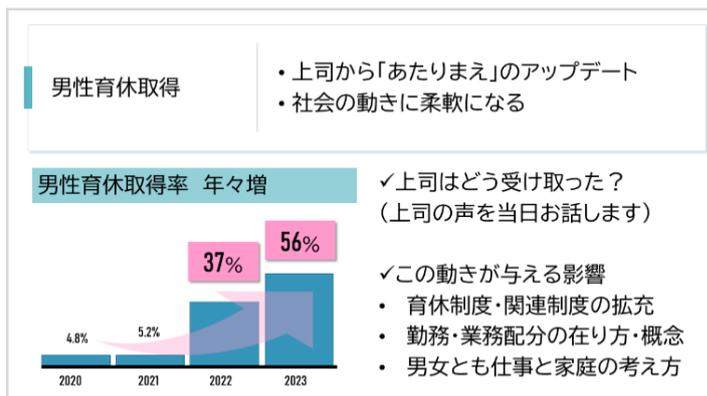
良いリーダーが存在することが、良い従業員、良い組織文化を生み、企業価値の向上にもつながる好循環を引き起こす、まさに良い組織となるうえでの要となることを強調した。



### ●第2部 先進企業による取組事例発表 (15:10～15:45)

#### 株式会社ヒロテック 人材開発センター 人材開発課 課長 有重三紀子氏

製造業ということもあり、もともと女性従業員比率が高くない中、新入社員の頃から男女分け隔てなく、現場実習や公募制の海外選抜教育等を行うことで、徐々に女性が活躍する場が増えてきたと説明。また、コロナ禍を経てライフスタイルが変わり、男性育休の取得数が増えたことに伴い、上司の意識も変化してきたと解説。加えて、イクボスであるためには、まずは上司自身が公私ともに充実する姿を見せることが重要だと説いた。



男性育休取得も、上司から「当たり前」の空気が生まれるようになってきている。



## ●第4部 ワークショップ

---

講演や先進企業の取組事例発表、パネルディスカッションを踏まえて、「今日学んだことや改善点、メンバー全員が幸せに働き続けるためにイクボスとして明日から実践したいこと」などについて、受講者が複数のグループに分かれて意見交換を行った。

---

### ●受講者の声

---

<講演について>

「サーバントリーダーシップという今まで自分の考えになかった新しい管理職の姿を教えていただきました。」「ダイバーシティ経営の考え方や効果や実情、提言を実際に企業にアドバイスされる立場から詳しく伺うことができた。」など。

<先進企業の取組事例発表とパネルディスカッションについて>

「上司（イクボス）が健康であること、プライベートが充実していることの重要さが伝わりました。」「企業内の実際の取組や今後の思い（方針）など、生の声が聞けて弊社とのギャップや参考となることが多分にあった。」など。

受講者の皆様が、イクボスとして更に飛躍し、活躍できるリーダーになるヒントが詰まった研修となりました。

---